

グラフ

みんなの県政

愛と繁栄の富山県

No.6 昭和51年

◆表紙

平家の落人たちが、安住の地を求めたといわれる五箇山。ここ庄川の上流にその昔の面影を残す合掌造りの集落上平村菅沼は、国の文化財に指定されている。近年ここを訪れる人々はあとを絶たない。



おおよま国体であいさつをする中田知事

あいさつ

わが国の経済は、高度経済成長から減速経済への移行という大きな転換期を迎えております。この厳しい諸情勢の中で、県民生活の安定、福祉の維持充実、中小企業の振興等、県政の山積する諸問題を解決するため、私は「ねばりと正直」の信条のもとに県民のみなさんの理解と協力を得て「愛と繁栄の県政」を推進する覚悟であります。

「立山に美と力と友情と」をテーマに開催されました「おおよま国体」は、県民のみなさんを始め関係各位のご協力により成功裏に終了いたしました。ご存じのとおり、本県選手団の活躍はめざましく、この大会をいやが上にも盛りあげ、県民ひとり1スポーツを提唱している本県といたしましては、その成果が大いに挙げたことを感謝しております。

私は「おおよま国体」のかずかずの成果が、必ずやこれからの県勢発展の大きなエネルギーになると信じるとともに、今後共、県民のみなさんの絶大なご協力をお願いいたしまして、ごあいさついたします。

富山県知事 **中田 幸吉**

愛と繁栄の県政

- 住みよい富山県をつくる
- 富山県に繁栄をもたらす
- 若い世代を育てる



生活のカギを握る婦人たちの意見は 直接県政に結びつくものが多い—〈知事と語る婦人のつどい〉八尾町で—



県の施設や行政の内容を 直接見聞することができる県政バス教室は 県政を身近かに感じ理解を深められると大好評

愛と繁栄

住みよい富山県をつくる

高福祉県めざして

富山県は、人間優先の豊かな住みよい郷土づくりに邁進しております。老人・心身障害者(児)などの福祉施策や環境の整備、自然保護とその活用等々。そうした中で、県民が等しくゆとりのある健康な生活ができる富山県をめざして……。



老人福祉電話のおかげで 子供や孫の声がすぐ聴かれて 本当にうれしくて……と—富山市の牧野さん—



富山県社会福祉総合センターの建設は まず肢体不自由児施設高志学園の改築から



県内に排出ガス常時監視所は市町村の設置を含めて29カ所
—富山市内国道8号線と41号線交差点—



互いに励まし合い 障害を克服して社会復帰しようと 機能回復訓練に懸命な努力を続ける姿がある—富山県身体障害者更生指導所—



大気汚染移動観測局は2カ所に

澄んだ空気を

激増する車が排出するガスや、工場から排出するガス等による大気汚染を防止して、人びとの生活をまもっています。



昭和54年度の大学校舎建設完成をめぐり整備を急ぐ富山市杉谷の敷地

待望久し 国立富山医科薬科大学が開学

昭和50年10月1日に医大誘致構想がもたれて以来8年、ついに県民の期待をになって開学した〈国立富山医科薬科大学〉は、51年4月から授業が開始されます。

医学と薬学を一体化し、東西両医学を融合した新しい医学のあり方をめざすユニークな構想をもち、別表のような組織で構成されます。

また教育課程は、両学部とも独立の教育課程や医進

課程を設けずに一貫教育を実施するほか、医薬総合教育の立場から共通基礎科目などは、医薬合同講義を中心にするという特徴があります。

待望の医科薬科大学が誕生して、〈無医大〉県から脱却した富山県は、救急・老人・へき地等の医療対策、看護婦等の医療従事者の確保等、開学を機に一層の強化を図り、県民の健康管理の行政をおしすすめます。

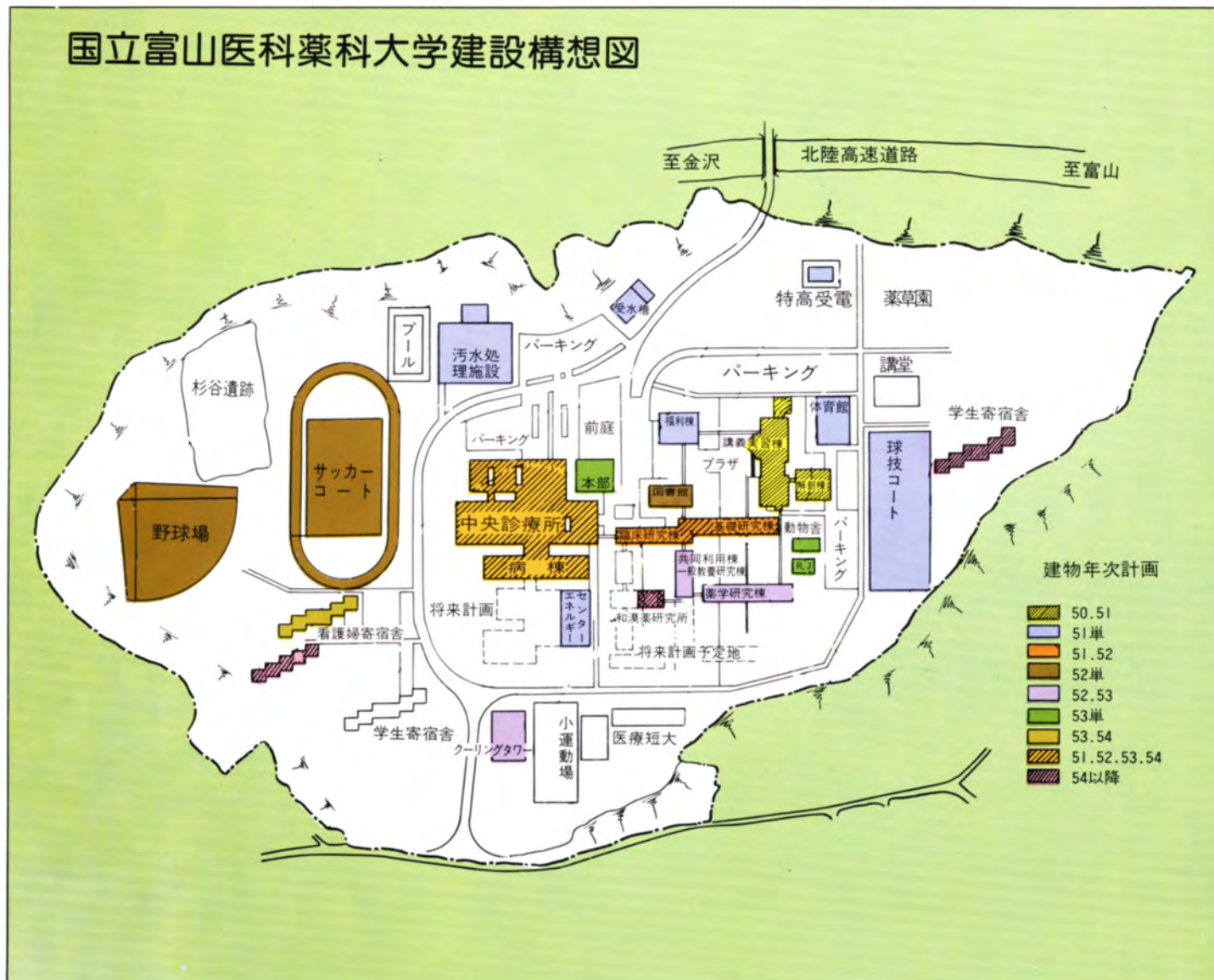
国立医科薬科大学の関連教育病院として完備された県立中央病院

組織

- 医学部
- 薬学部
- 和漢薬研究所
- 附属病院
- 医療原性病態研究センター
- 共同利用機器センター
- 動物実験センター
- 薬草園
- 大学院医学研究科
- 大学院薬学研究科
- 医療技術短期大学部



国立富山医科薬科大学建設構想図



和漢薬の研究機関である薬草園は 国立富山医科薬科大学開学でにわかに脚光を浴びてきた



物を大切にし 賢い消費者にと移動消費生活センター車「明るい暮らし号」の活躍は続く

生活の安定

県民生活の安定と向上をはかるため、物価対策・消費者保護、そして限りある資源を有効にと「物を大切にする運動」を推進しています。



富山県警に婦警「さわやかさん」が誕生 いま交通指導に専念

守ろう交通ルール

ここ数年、交通事故関係の数字は減少しています。まことに喜ばしいことです。道路交通環境の整備、交通安全思想の普及徹底、適正な道路使用の指導強化、そして、特に車の安全運転の教育指導等、きめ細かい交通安全施策が進められています。



運転免許業務と更新時検査・講習を集中一元化した「安全運転教育センター」が富山市高島地内に開所



風土記の丘にある〈かもしか園〉で生れた「かもしか」の子

県獣に「かもしか」決まる

県獣「越の犬」の絶滅により昭和50年9月に、新しく〈かもしか〉が県民の世論により県獣に指定されました。

特別天然記念物である「かもしか」は、立山連峰をその代表的生息地としており、厳しい自然環境の中で黙々と生き抜く姿は、富山県民性を代表するものといえます。

かけがえない自然

かけがえない自然、人間に安らぎを与えてくれるこの大自然を私たちは大切に守りながら、その恩恵をいかさなければなりません。急峻な山、広々とした平野、広大な海。森あり水あり沃野あり。そして鳥をうたわせ、草花を咲かせ、獣や魚を育ててくれるこの大自然という偉大な母に報いるために、人間社会が果たすべきことは、実に多いことを考えるべきではないでしょうか。



雷鳥は 日本アルプスと白山だけに生息します 県鳥であり特別天然記念物に指定されています 雷鳥の衣がえは有名で、冬には尾羽の一部を残して黒褐色から純白になります 5月から7月いっぱい繁殖期ですから 営巣場所に近寄らないで下さい



立山の自然を満喫してもらうための解説者であり 大切な自然を守る厳しい監督者ナチュラリストは大活躍



「さあ どなたでも気軽に私と接して 健康な明るい生活を」と頼成の森は呼んでいます

だれでも いつでも 気軽に利用できる健康的な 「県民公園」の建設

とやま県民公園は、頼成の森がオープンし、子供の国の建設が急がれています。県の中央部の射水丘陵地帯の森林、約2,500ヘクタールに、自然を保全しながら、広く県民が集い、楽しみ、学び、親しむことのできる憩いの場として、置県100年（昭和58年）に完成する予定です。



太閤山ランドの中にすばらしい「こどもの国」が計画されています



<p>A 地区 テーマ</p>	<p>たいこうやま 太閤山ランド</p> <p>太閤山ランドは次の4つの性格を基本にして計画しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対話のある公園 2. 冒険と挑戦の公園 3. みんなが創造する公園 4. ゆとりと安らぎの公園 	<p>B 地区 テーマ</p> <p>県民ゴルフ場</p> <p>誰もが安く手軽にゴルフを楽しめるパブリック制のゴルフ場を造成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ゴルフコース(18ホール) ● クラブハウス ● 練習場 ● 駐車場 ● その他管理施設など
<p>C 地区 テーマ</p>	<p>自然博物館</p> <p>自然博物館は次の3つの目的を基本にして計画しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然探勝とレクリエーションの場の提供 2. 自然の学習と研究の場の確保 3. 動植物の保護と景観の保全 	<p>D 地区 テーマ</p> <p>頼成の森</p> <p>県民各層が気軽に森林と接触することによって、健康でうおいのある生活ができるよう、保健休養林として整備し、野外レクリエーションの場を提供することを目的として建設されました。</p>

愛と繁栄

富山県に繁栄をもたらす

優良米の供給基地「とやま」に

農業県という歴史的背景をいかし、生産性の高い土地利用と安定的な経営ができるよう、農林水産にける意欲は大きいものがあります。

6つの柱

- ゆたかな土をつくる
- あすへの村をつくる
- すぐれた担い手をつくる
- さかんな意欲をつくる
- たのしい食膳をつくる
- 海と川の幸をつくる



農業県富山の知事として「うまい米つくり村」を視察激励



県民の栄養源としての畜産は年々大規模となり 専門化が進む

水産物加工技術は著しく進歩し 日々の食膳をにぎわしてくれる
—新湊に完成した水産業産地流通加工センター—





—高岡中央卸売市場全景—
生鮮食料品などが安定して供給されるようにと…

体質の強化を

中小企業をとりまく厳しい経済情勢に対処して、融資枠拡大、技術開発、情報の交換などを図り、体質強化を進める富山県では、商業や伝統産業の振興、貿易の積極的推進、広域観光事業の強化等、重要な課題として努力を重ねていきます。



技術の多様化・高度化に適応できる技能者を 能力再開発訓練で養成

余暇利用に備えて

余暇利用、生活にうるおいをという時代に対処して、全シーズン通じて利用できる観光レクリエーション基地計画が立山山麓から風土記の丘の間で進められています。

風土記の丘上空からみた立山山麓観光レクリエーション基地



愛と繁栄

若い世代を育てる

創造力豊かに

若い世代が、心身共に健全で創造力に富む豊かな人間性を養い、そのもつ能力が充分発揮できるように、学校・家庭・社会が一丸となって、適切な指導と援助をすることは、私たち県民すべての責務です。

また、生涯にわたって教育の場に接するいわゆる生涯教育の必要性は、ますます増大しています。



富山—小杉間の開通により 富山・金沢・福井の3県都がハイウェイで結ばれた
—昭和50年10月4日—

富山以東に伸びる拠点〈富山インターチェンジ〉はWトランペット方式

本格化した ハイウェイ時代

ハイウェイ時代は、いよいよ本格化してきました。今年10月には福井—武生間が開通することになっており、ハイウェイは一段と県民生活にプラスとなっていく予定です。

経済の停滞から遅れている〈北陸新幹線〉も早期に着工されるよう努力がなされており、また一般国道のバイパス計画も着々と促進されています。

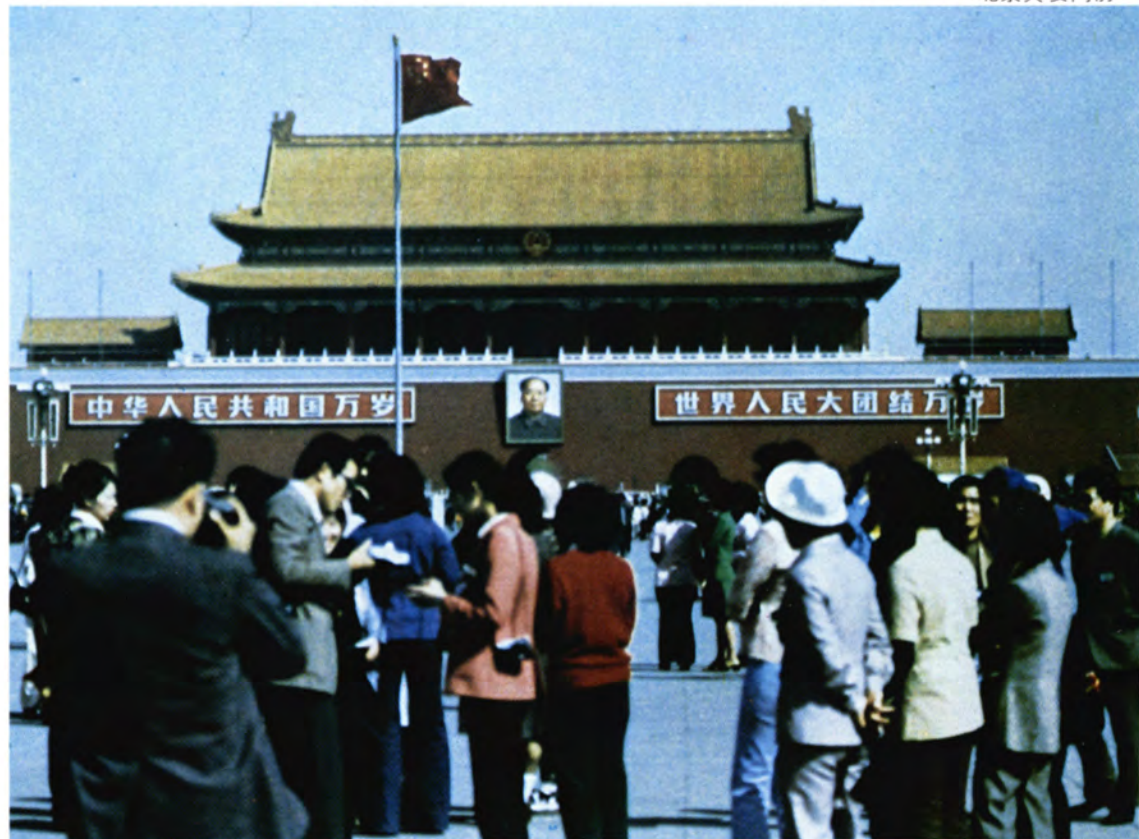


地図とコンパス片手に ポストを求めて山野を駆けめぐり 自然を満喫しながら目的地まで競争するという新しいスポーツ〈オリエンテーリング〉は 豊富な自然にめぐまれた県内ではさかに行われている—呉羽少年自然の家コースで—



第5回富山県青年の船は中国を訪れ 日中友好親善に一役 大歓迎を受けました
—天津港に降りる団員たち—

すばらしい中国をみて中国青年のもつ責任感に深い感銘を受けたという
—北京天安門前—



おおやま国体を契機に 県民ひとりスポーツも身につく ことにウインタースポーツがさかんになる



富山県は調和のとれた学校教育を重点に 教育の充実を図る—開校1年目の富山南高等学校—

成功した おおやま国体

富山県勢 9位に

第31回国民体育大会冬季大会スキー競技会（おおやま国体）は、昭和51年2月14日から17日まで、上新川郡大山町の極楽坂と粟巣野お迎えして開催。あいにく天候は曇り勝ちで、霧に悩まわれましたが、さすが全国から集まった精鋭は、この悪各競技に白熱戦を展開。日頃鍛えた技をいかんなく発揮富山県勢は入賞（成績別表）あと一步の9位になりました初の快挙であり、選手をはじめ、関係役員の方々の賜とまた、今国体は史上最高の数の参加都道府県と役員選手筆されること。しかしこれにもまして、県民ことはい思いやりと、おいしい越中米とカロリーに富んだ料理。これらは「おおやま国体を成功させよう」を合言葉をモットーに、その運営に支障のないよう、万全を期し労は国体史上高く評価されるものです。



15年ぶりにご来県になった皇太子ご夫妻は 終始にこやかに県民に接しられ 新たな感銘を与えられた

参加都道府県 <41> 選手役員団 <1,926名> という競技会の開会式入場行進のシンガリは富山県勢62名

（体）は、昭和51年2月で、皇太子ご夫妻をされ、時々雨に見舞条件をものともせずしました。たが、これは県史上高く評価されました。団を迎えたことも特地元大山町民の暖かには、絶賛を浴びました、「親切」「質素」た成果として、その

史上最高の冬季大会スキー



私たちは正々堂々と……と力強く選手宣誓する高尾忠義君



男女総合		女子総合	
1位	北海道	1位	北海道
2位	青森県	2位	青森県
3位	長野県	3位	長野県
4位	秋田県	4位	秋田県
5位	新潟県	5位	岐阜県
6位	山形県	6位	山形県
7位	岐阜県	7位	埼玉県
8位	東京都	8位	東京都

おおやま国体富山県選手入賞一覧

順位	種目	種別	選手氏名
1位	大回転	教男1部	山中茂
	大回転	教男2部	中村昭男
	純飛躍	教男2部	最上満夫
	複合	教男2部	篠村幸夫
2位	大回転	少年男子	高尾昭寿
	15 km	教男2部	吉越明子
3位	大回転	教員女子	菅根生子
	15 km	教男1部	池村直人
4位	大回転	教男4部	尾原咲夫
5位	大回転	教男3部	池田実雄
6位	大回転	成男2部	佐伯松雄
	15 km	成男2部	島田健治
7位	5 km	教員女子	岩瀬真知子
	15 km	成男3部	山田友一
9位	15 km	教男4部	山池信一
	リレー	成年男子	島田健治・池村直人・水戸康博・吉越明子・山田友一
10位	15 km	成男3部	横井敏夫
	5 km	成女1部	松田春代
	リレー	女子	木下百合江・松田春代・藤井美智代・高尾由香里



優勝選手スナップ

距離15kmで優勝した篠村幸夫選手(ゼッケン45)は
複合飛躍でも優勝

純飛躍で優勝した最上 満選手の美しいフォームに観客は盛大な拍手



昨年の富良野国体に次いで連続優勝した大回転
の王者中村昭男選手のあざやかな滑降



濃霧のたちこめる中を1分58秒64という猛スピード
で滑降 堂々の優勝をかざった山中茂選手

大会の花 ジャンプ競技をこの目と 声援をおく
る大観衆



No. 6

グラフみんなの県政



- 発行／昭和51年 4 月
- 編集／富山県広報課
- 印刷／(株)チューエツ

